

令和6年度

社会福祉法人 長浜市社会福祉協議会 事業報告及び附属明細書

1. 地域福祉の推進

長浜市社会福祉協議会では、地域共生社会実現のために、令和6年度からスタートした「第3期長浜市地域福祉活動計画」の基本理念「多様性を尊重し 地域の絆で ともに育み支えあい 安心して暮らせるまち 長浜」に基づき、自治会、地区、市域のエリアにおける福祉活動の展開を進めました。

地域共生社会を実現するために不可欠な地域における多様なつながりを創出するために、昨年度に引き続き「福祉とデザイン研究会」を実施し、6つの実践プロジェクト活動を展開しました。また、どんな些細なことでも相談できる窓口として、民生委員・児童委員や地域のボランティア団体、自治会、企業、行政など地域の関係機関と連携し、課題解決に向けた具体的な支援へとつなげました。

住民が気軽に集まり、交流できるサロンなど、地域活動の場を支援することで、孤立を防ぎ、誰もが居場所と感じられるコミュニティづくりを進めるために、地域活動の拠点づくりに引き続き取り組みました。

経済的な困難、病気やしょうがい、人間関係、ひきこもりなどの複合的な要因で生活が立ち行かなくなるなど、生活に困りごとや不安を抱える方々に対して、多様な機関と連携しながら、一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな支援を実施しました。

新規事業として、生活困窮世帯等の子どもの学習習慣の定着と学力向上を目的とした学習支援事業「ながはま夢さくら塾」、支援が必要な子どもの夜の居場所「トワイライトステイ」、高齢者等に対するデジタル支援を行うボランティアを養成する「ながはまスマホサポーター養成事業」に取り組みました。

(1) 福祉活動支援事業

① 地域福祉推進事業（地域福祉活動計画の推進と地区別福祉活動計画の推進支援）

令和6年度からスタートした地域住民の主体的な行動計画である『第3期長浜市地域福祉活動計画』の推進を目指し、更なる地域住民・社協・行政の連携・協働体制を強化し各地域の福祉活動の取り組みを推進しました。市内全地区で策定された地区別地域福祉活動計画を基盤とした取り組みの推進及び進行管理等について地区社協（福祉の会）との連携、協働を進めました。

また、活動の進捗管理や実践支援推進の検討を進めるため、長浜市地域福祉活動計画推進委員会を開催しました。

- 長浜市地域福祉活動計画推進アドバイザーとの協議 5回
- 地区別地域福祉活動計画の推進支援 15 地区
- 第3期長浜市地域福祉計画推進に関わる各種関係会議参加
- 長浜市地域福祉活動計画推進委員会の開催 2 回

推進委員会※	開催日	内 容
第24回	令和6年6月19日(水)	・第2期長浜市地域福祉活動計画の推進状況について ・第3期長浜市地域福祉活動計画について

第25回	令和7年2月26日(水)	・第3期長浜市地域福祉活動計画の推進状況について ・講義「地域福祉の推進」について 講師 長浜市地域福祉活動計画推進アドバイザー 山下 憲昭 氏 ・グループトーク 「新しい視点の取組推進について」
------	--------------	--

※第1回から回数を通算しています。各年2～3回開催しています。

② 地区社協支援事業

地域の実情に応じた福祉活動を推進する基盤福祉団体である地区社協との連携のもと各地域の福祉活動・交流活動を進めることを目的として地区社協への支援を実施しました。

○代表者会議・研修会の実施

開催日	内 容
令和6年6月3日(月)	長浜市社会福祉協議会の動きについて 各地区社協の取り組み紹介、意見・情報交換
令和6年12月6日(金)	企業と連携した取り組みについて 各地区社協の取り組み紹介、意見・情報交換

○地区社協研修会の開催

■開催日：令和6年10月11日（金）

■内 容：地域共生社会推進全国サミットin いこま

■場 所：たけまるホール（奈良県生駒市）

■参加者数：57名

○地区社協活動推進事業補助金 15地区 定額200,000円 会費納入世帯×150円

○地区社協事務局運営補助金 6地区 定額100,000円 会費納入世帯×50円

○支援地区社協数 15地区

③ 福祉委員支援事業

地域における福祉課題への解決に向けた取り組みや、地域の隣近所など近隣の見守り活動、地域交流を深めることを目的に設置された福祉委員を支援し、地域の実情に応じたきめ細やかな小地域福祉活動が、それぞれの地域で実践されることを目的として支援を行いました。

地区社協（福祉の会）、民生委員・児童委員等との連携のもと、地域福祉推進の担い手、地域の見守り者として活動できる環境整備を実施しました。

■地域福祉講演会

日 時：令和6年7月28日（日）①10:00～11:30 ②13:30～15:00

※①、②内容同じ

内 容：「地域活動の楽しさ・やりがいとは～外出支援&スーパーの再建について～」

講 師：特定非営利活動法人加楽 理事長 楠神 渉 氏

参加者：①25名 ②33名

■地域福祉塾（2回連続講座）※第1回は台風のため中止

日 時：令和6年9月14日（土）10:00～12:00

内 容：「ここで・ともに・ぶじに・いきる～多世代で共に育む地域の未来～」

講 師：滋賀県立大学地域共生センター 特任講師 上田 洋平 氏

参加者：20 名

※地域福祉講演会、地域福祉塾は生活支援サポーター養成講座と合同開催しました。

④ 地域見守り活動推進事業

日ごろの支えあいの積み重ねによる、いざという時の迅速な対応や、安心して暮らせる地域づくりを目指し、地域の支えあいを基本とした見守りや声かけをはじめとするふれあい活動に加え、見守り会議など見守り体制づくりを推進しました。長浜市避難支援見守り支えあい制度の登録推進など防災・減災活動、避難支援体制整備（防災福祉マップ作成など）を推進しました。

○自治会域での見守り活動の取り組み数

■見守り会議：113 自治会（新規 24 自治会）

■命のバトン：328 自治会（新規 7 自治会）

■防災福祉マップ：207（新規 51 自治会）

○地区域での研修会等の開催

■3 地区（南郷里、西黒田、神田）

○見守り活動フォーラム 2025 開催

■開催日程：令和 7 年 3 月 15 日（土）

■開催回数：1 回

（午前：浅井文化ホール、午後：高月まちづくりセンター、同じ内容を 2 会場で実施）

○見守り活動啓発資材の配布

■啓発資材配布自治会：7 自治会（令和 7 年 3 月 31 日現在 取り組み自治会数 328）

■啓発資材配布地区社協：6 地区社協（神照、北郷里、びわ、湖北、高月、余呉）

■命のバトン（マグネットケース付き）配布数：89 個

（令和 7 年 3 月 31 日現在 配布累計数 1,018 個）

○災害時要配慮者個別避難計画の作成

6 自治会 35 件作成

⑤ ふれあい電話事業

登録されたひとり暮らし高齢者等の方々に対し、ボランティアの協力のもと電話による友愛活動を実施しました。民生委員・児童委員や各福祉関係機関との連携のもと安否確認、生活相談を行うことで、社会的孤立感の解消や日常生活上の課題解決に向けた取り組みを行いました。

また、協力ボランティアを対象とした研修会と交流会を開催し、相談の質の向上に努めるとともに、ボランティア同士のつながりづくりを進めました。

○実施内容 安否確認や福祉ニーズの把握（悩み、不安、健康状態、福祉サービス等）のための電話による友愛活動

○実施日時 毎週水・木曜日 午前 10 時～午前 11 時 50 分 計 93 日間

○通話者 ボランティア団体、民生委員児童委員協議会 計 13 団体
個人ボランティア 4 名

○対話者 89 名

○通話件数 延べ 1,935 件

○個別対応 利用者からの相談に対し、専門相談または関係機関等への連絡
延べ 51 件

○研修会

■開催日：令和 6 年 10 月 11 日（金）

- ◆内 容：講演「傾聴する」
- ◆講 師：持専寺住職、稲荷山武田病院勤務、大谷大学非常勤講師
笠原 俊典 氏

◆参加者：21名

■開催日：令和6年12月13日（金）

- ◆内 容：「ふれあい電話利用者への年賀状作り」～スタンプを使った簡単年賀状作り～
- ◆講 師：消しゴムはんこ作家 重信 瞳 氏
- ◆参加者：20名

⑥ 小地域サロン支援事業

地域のボランティアが主体となり、高齢者やしょうがい者など地域での交流機会が希薄になりがちな要援護者等を中心として、地域住民がともにふれあえるサロン活動の支援を行いました。サロン活動の充実を目的に、サロンで使えるレクリエーション講座を開催しました。また、サロン支援員を配置し、運営ノウハウ、レクリエーションの提供などの活動支援に取り組みました。

○助成金支援団体数：194 団体

（実施期間 1 年～3 年：30,000 円 4 年以降：10,000 円）

○新規助成金支援団体数：11 団体

※サロン支援員の活動実績については⑤生活支援体制整備事業に記載

⑦ 広報・啓発活動

地域の福祉活動や本会の取り組み、福祉関係の情報を提供する広報紙、ボランティア活動者・サロン運営者向けの情報紙を発行することで、福祉に対する意識向上、地域福祉活動への参加促進、そして活動者、当事者の交流のきっかけづくりを行いました。また、併せて本会活動に対する理解の向上に努めました。

ホームページ、Facebook ページを運営し、手軽に情報を受け取っていただけるよう記事の更新に努めました。また YouTube チャンネルを開設して、研修会や職員紹介動画などを発信して短い時間で多くの情報を認知してもらえるよう取り組みました。

○広報紙の発行

■社協ながはま

◆発行回数：年 4 回（6 月・9 月・12 月・3 月号）

◆発行部数：7,000 部/回

■ボランティア情報誌「えくすてんど」

◆発行回数：年 4 回（広報紙内に記載）

■ボランティアセンターだより「ランティーちゃん はーい」

◆発行回数：年 4 回（4 月・6 月・2 月・3 月号）

◆発行部数：約 300 部/回

■サロン情報紙

◆発行回数：年 6 回

◆発行部数：約 300 部/回

○ホームページの運営（<http://www.nagahama-shakyo.or.jp/>）

○Facebook ページの運営（<https://www.facebook.com/nagashakyou/>）

○YouTube チャンネルの運営（<https://www.youtube.com/@user-kd8mo9bc3g>）

○Instagram の運営（<https://www.instagram.com/nagahamashakyo>）

○広報紙「社協ながはま」広告企業の募集

⑧ 福祉団体助成事業

市内で活動する福祉団体に対して活動費の助成を行い、福祉団体の育成・活動の促進に努めました。

○助成団体数：8団体

○支援事業数：15 事業

■長浜市民生委員・児童委員協議会
■長浜市手をつなぐ育成会
■長浜市老人クラブ連合会
■滋賀県私立保育園連盟湖北ブロック
■長浜市視覚障害者協会

■長浜地区更生保護女性会
■長浜市特別支援教育研究部会
■母子福祉のぞみ会

長浜市民児協運営事業
ボーリング大会、日帰り研修旅行、クリスマス会
ペタング・グラウンドゴルフ大会、
滋賀県園児絵画展（湖北ブロック）
啓発活動、見えない見えにくい相談会・情報
交換会、防災の話・AED 体験、歩行訓練、グ
ラウンドゴルフ、カラオケ交流会
一般公開ケース研究会
長浜市小中学学習発表会
ふれあい広場食品サンプル作り体験

⑨ 歳末たすけあい運動

共同募金運動の一環として地域住民や民生委員・児童委員、福祉関係機関、団体等の協力のもと新たな年を迎える時期に、誰もが地域で安心して暮らし、地域のたすけあいや支えあいの活動を広げることを目的として取り組みを推進しました。

事業名	支援対象者・団体数・参加者数など
緊急食料給付事業	生活困窮者向け食料品の購入及び給付
特別支援学級等学用品助成事業	特別支援学級生徒等 289 名
要保護世帯図書カード支援事業	要保護世帯児童生徒 24 名
歳末おせち料理配食事業	おせち料理の用意がご自身やご家庭で経済的又は身体的理由等により困難な方 960 名
歳末行事支援事業	市内の福祉施設・福祉団体 23 団体
小児科病棟クリスマス訪問事業	長浜市内小児病棟入院患者 35 名

⑩ しょうがい者等交流事業

○しょうがい児者保護者交流事業（ほのぼのかけはし）

長浜養護学校及び市内小中学校特別支援学級、療育支援センターに通学等するしょうがい児・生徒の保護者等を対象に、しょうがいについての理解を深め、気軽に相談し交流できる仲間（ネットワーク）づくりを目的に研修会“ほのぼのかけはし～みんなひとりじゃないんだよ～”を開催しました。

開催日	内 容	参加者数
令和6年7月5日（金）	意見交換会「進路について」 講師：佐藤 明子 氏（元特別支援学校教諭） 中野 弘美 氏（当事者保護者）	13 名
令和6年9月6日（金）	出前講座「防災について」 講師：社会福祉協議会職員 佐藤 明子 氏（元特別支援学校教諭） 中野 弘美 氏（当事者保護者）	12 名

令和6年10月4日(金)	施設見学&ランチ会 講師：社会福祉法人湖北会 ゆるり ワークスさぼてん 佐藤 明子 氏（元特別支援学校教諭） 中野 弘美 氏（当事者保護者）	9名
令和6年11月1日(金)	研修会『「幸福に生きる力」～性教育について～ 講師：岡崎医院・まちの保健室 佐藤 明子 氏（元特別支援学校教諭） 中野 弘美 氏（当事者保護者）	11名
令和6年12月1日(金)	ほのぼのカフェ 講師：佐藤 明子 氏（元特別支援学校教諭） 中野 弘美 氏（当事者保護者）	7名

※開催場所：高月福祉ステーション他

○一般就労者交流支援事業（元気クラブ）

一般就労する知的しょうがい者の余暇活動支援及び仲間づくりを目的とした交流事業を湖北地域しょうがい者相談センター「はたらき・くらし応援センターこほく」との共催で開催しました。

開催内容及び参加者数等	開催回数	参加者数
事務（企画）会議	6回	67名
スポーツ体験（ボッチャ・ボーリング等）	2回	40名
外出・社会見学（日帰り旅行等）	7回	132名
講座（調理実習、身だしなみについて）	2回	30名

○しょうがいへの理解促進

地域の福祉団体などが実施するしょうがいへの理解を広げるための研修会を企画する際に情報提供を行いました。

⑪ 子育て支援事業

1) おもちゃ図書館事業

未就園の幼児と保護者を対象に、様々なおもちゃでの遊びや簡単な工作をとおして、子どもの豊かな発想と発育を支援するとともに親子のふれあいや保護者同士、地域のボランティアとの交流を促進し、子育て環境の充実を目的に実施しました。

虎姫会場では虎姫福祉の会「は～とらんど」と協働で事業展開し、木之本会場では地域ボランティアや活動グループ協力のもと、地域ぐるみの子育て支援を推進しました。また、湖北福祉の会協力のもと、湖北会場にて、2会場（虎姫・木之本）合同開催実施しました。

○虎姫会場 毎月第2・3水曜日 10:00～11:30

○木之本会場 毎週火曜日 10:00～11:30

開催場所	開催回数	延べ参加者数	延べボランティア活動者数
虎姫会場	23回	84名	19名
木之本会場	48回	65名	9名
湖北会場	4回	35名	6名

2) 冒険遊び場づくり活動支援事業

子どもの外遊びをとおした居場所づくりを目的とした「冒険遊び場」を開催しました。また、冒険遊び場の活動に関心のある団体・個人への相談・開設支援を行いました。人材育成講座では、子

どもの外遊び支援に関心のある方向けに研修と横のつながりづくりを行いました。

○ながはま冒険遊び場の実施 毎月第3土曜日 10:00～15:00

■開催場所：浅井ふくらの森

■開催回数：16回（定例12回、イベント4回）

■延べ参加者数：251名

○開催相談・支援団体：3団体

○用具貸出：5件

⑫ 在宅介護者のつどい事業

在宅で介護する方を対象に、日ごろの悩み相談や情報交換ができる仲間づくりの交流会、介護の技術や知識の学習会、介護者が日常的に抱える不安やストレス緩和のリフレッシュの機会などを設け、制度の円滑な利用や介護者の孤立防止を図り、在宅介護の充実に努めました。

開催日	開催場所	内容	参加者数
令和6年 4月23日（火）	glanta(グレンタ) CAFE(カフェ)	春のランチ会	8名
令和6年 5月29日（水）	湖北福祉ステーション	～共に学び共に備える～ 在宅介護者のための防災講座	7名
令和6年 6月17日（月）	長浜まちづくりセンター	お灸体験とツボの効能	10名
令和6年 7月25日（木）	湖北福祉ステーション	花かごアレンジメント	10名
令和6年 8月21日（水）	池原そば道場	そば打ち道場 自分で打って味わおう	6名
令和6年 9月27日（金）	湖北福祉ステーション	姿勢チェックと体力測定 シセイ カルテでゆがみを改善しましょう	7名
令和6年 10月24日（木）	長浜まちづくりセンター	オール100均でつくって遊ぼう おしゃれな棚をDIY	12名
令和6年 11月21日（木）	米原市 清瀧寺徳源院	清瀧寺 徳源院庭園 紅葉鑑賞	11名
令和6年 12月16日（月）	長浜まちづくりセンター	お正月しめ飾りづくり体験	10名
令和7年 1月22日（水）	長浜まちづくりセンター	茶話会しながら介護保険のことを 聞いてみよう	4名
令和7年 3月21日（金）	長浜まちづくりセンター	自分のストレスを知って心をコン トロールしよう	12名
※2月は積雪のため中止			合計 97名

⑬ ふれあい備品購入助成事業

自治会に対して、地域福祉活動や交流事業等に必要な備品の整備を支援することで、地域活動・住民活動の活性化、住民相互の交流促進に努めました。

○助成内容 福祉活動・世代間交流に必要な備品購入助成

※1 自治会 50,000円以内 購入費総額の2/3以内

○助成団体数 19自治会

⑭ ふれあい用具貸出事業

自治会等地域福祉活動を推進する団体等が行う地域行事に対して、必要な用具を貸出し、地域交流の増進に努めました。

○ふれあい用具貸出実績

用具名	貸出件数	用具名	貸出件数
ポップコーン機	61 件	綿菓子機	69 件
鉄板	28 件	かき氷機	63 件
DVD	49 件	スクリーン	47 件
サンタクロース衣装	4 件	プロジェクター	65 件
テント	37 件	車いす（学習用等）	384 件
ビンゴゲーム機	20 件	その他	105 件
マイク・アンプ	149 件	輪投げ	118 件
コミュニケーション麻雀	8 件	コミュニケーション用各種ゲーム	467 件
合 計	1,674 件		

⑮ 福祉用具・福祉車両貸出事業

在宅の高齢者やしょうがい者へ車いすを貸出し、在宅での生活を支援しました。

また、外出支援として在宅で生活する高齢者やしょうがい者の社会参加の促進と家族の絆を深めるため、介護車両の貸出しを行いました。

○福祉用具（車いす）の貸出回数 326 回

○車いす移送用車両の貸出回数 425 回

⑯ 第13回社会福祉大会（社会福祉功労者表彰式）

社会福祉の推進・向上に多大な貢献をされた個人ならびに団体を表彰し、その功績を称えるとともに、多額の浄財を寄付していただいた個人・団体に対して感謝状を贈り、社会福祉の啓発を図りました。

また、福祉標語・福祉ポスターの表彰及び発表、地域福祉に対する理解と関心を高めるため講演会を開催しました。

○開催日時 令和6年11月23日（土・祝）9:00～12:00

○開催場所 びわ文化学習センター

○参 加 者 200名

○社会福祉功績者表彰式

■会長表彰 【個人】：20名 【団体】：1団体

■感謝状（善意銀行の部） 【個人】：2名 【団体】：4団体

○講演会

講演 社会福祉法人わたむきの里福祉会 理事 野々村 光子 氏

⑰ ワークキャンプ支援事業

中山間地域の地域課題緩和を目的として、若年層ボランティア（大学生）、一般ボランティアによる地域活動の参加を企画し、地域課題に対する認識と地域住民と参加者との交流を深めました。

また、住民との交流会を通じ余呉の歴史や文化、暮らしなどを実際に見て、聞いて、知ることで中山間地域の魅力や少子高齢化などによる地域の暮らしの困りごとについて学ぶための体験学習を開催しました。

実施日	実施地区	支援内容	参加者数
令和6年 9月14日(金)～15日(土)	余呉地区 摺墨・菅並・中河内自治会	土砂上げ、草刈り作業	26 名

令和7年 2月11日(火)、15日(土)	余呉地区 中河内自治会	除雪作業	21名
-------------------------	----------------	------	-----

⑱ 福祉出前講座

市民団体、地域団体等が開催する研修会等に職員を派遣することで市民との協働による地域福祉活動の推進を図りました。

○福祉出前講座の開催（職員の派遣）

派遣件数：162件（地域福祉課：152件、介護事業課：9件、相談支援課：1件）

受講者数：3,532名

内容	件数	参加者数	内容	件数	参加者数
HUG～避難所運営ゲーム～	1件	31名	サロン活動のススメ	104件	2,082名
見守り活動のススメ	5件	165名	ここが知りたい「介護保険制度」	1件	30名
災害時体験「いざメシ作り」	2件	72名	レクリエーションで日常の楽しみを	1件	30名
クロスロード～災害編～	1件	17名	介護予防講座～脳活のすすめ	2件	54名
やさしさ配慮講座「アイマस्क」、「車いす」	4件	82名	介護予防講座～健康は足もとから～	1件	39名
やさしさ配慮講座「シニア」	6件	216名	「しょうがい」ってどこにある？～社会モデルと合理的配慮～	1件	48名
地元知るすごろく	3件	27名	リクエスト講座	26件	557名
大往生ゲーム	2件	40名	ボランティア講座～始めのいっぽ～	2件	42名
			合 計	162件	3,532名

⑲ 日常生活支えあい促進事業

高齢化の進行、核家族化やライフスタイルの多様化、中山間地域の人口減少など、地域に住む高齢者やしょうがい者、子育て世代など、日常生活を送るうえで様々な生活課題や日常生活の不便さを感じる方に対し、地域住民が主体的に地域の生活課題の解決に向けて取り組むこと目指して、地域支援組織（生活支援ボランティア組織等）の設立や活動支援を行いました。また、新規活動者養成のため、生活支援サポーター養成講座を開催し、生活支援の視点で地域を見つめ直し活動へつなげる機会としました。

○住民参加型の生活支援ボランティア組織等活動支援

■支援団体：かんだサポート会（神田地区）

元氣かい（余呉地区）

西黒田きんたろうサポート会（西黒田地区）

スマイルサポート西浅井（西浅井地区）

下草野地区地域づくり協議会（浅井地区）

たすけあい隊（虎姫地区）

話咲隊（長浜地区）

特定非営利活動法人ふれんど（六荘地区他）

- 支援内容：活動従事者研修会の開催、活動費の助成、活動用具の貸与、送迎用車両の貸出、活動周知支援、活動保険加入支援等

⑳ 地域除雪推進事業

高齢者世帯及びしょうがい者世帯等の要援護者世帯等の除雪活動に対して、活動保険の加入を実施することで要援護者宅の除排雪活動を支援し、地域の見守り支えあいの活動による雪対策の推進を図り要援護者の冬期生活環境向上を推進しました。

- 取り組み自治会数 58自治会
- 要援護者登録世帯数 1,179世帯
- 除雪支援活動登録者数 1,139名

㉑ 中山間地支援事業

人口減少や少子高齢化の影響が地域住民の生活や福祉活動に顕著に表れる中山間地域で、住民相互のたすけあい、支えあい活動や住民の憩いのための居場所づくり、生きがいを持って日々の生活を送り健康で健やかな暮らしを応援するための支援活動を行いました。

○地域カフェ「ほっこり茶屋」（コミュニティカフェ）

- 開設日時：毎週木曜日 10:00～15:00（第5木曜、祝日、年末年始を除く）
- 開設場所：余呉高齢者福祉センター
- 開設日数：43日
- 利用者数：延べ635名

㉒ ひきこもり者等支援事業

不登校者やひきこもり者等が他者と交流するための支援として、親の会や保健所等各関係機関と連携し、当事者の居場所づくりに取り組みました。また、“ひきこもり”に対する理解と地域でのあたたかい支援の輪を広げることを目的とした研修会を実施しました。

○「えんかふえ～ひきこもりの若者 不登校のこどもの居場所～」の開催

- 開催日時：毎月第1・3木曜日 13:30～16:30
- 参加者数：当事者延べ75名 保護者延べ9名

○研修会・家族交流会の開催

■第1回

- ◆開催日時：令和6年8月3日（土）13:30～17:00
- ◆開催場所：湖北福祉ステーション
- ◆内容：「不登校・ひきこもりってなに？Vol.7」～いいんだよは魔法のことは～
- ◆講師：齋藤 真人氏
- ◆参加人数：40名
- ※cotton～こっとな～、おっとな共催

■第2回

- ◆開催日時：令和6年12月7日（土）13:30～17:00
- ◆開催場所：旧びわ福祉ステーション
- ◆内容：「『不登校・ひきこもりってなに？』vol.8」～不登校だった僕らから～
- ◆講師：山崎 史朗 氏・山崎 雄介 氏（JERRYBEANS）
- ◆参加人数：29名
- ※cotton～こっとな～、おっとな共催

○親の会支援（会場手配、チラシ作成・配布支援、研修会開催支援等）

■支援団体数：3 団体（cotton〜こっとな〜、おっとな、ほっと♡Hotto）

○県社協 家族教室サテライト会場（長浜会場）の設置、運営

◆日時：令和6年11月30日（土）13:30～15:30

◆場所：神照まちづくりセンター

○不登校児童・生徒の居場所づくりの推進 長浜市フリースクール協議会

■第1回

◆日時：令和6年4月24日（水）10:00～12:00

◆会場：長浜カイコー

◆参加：13名

◆内容：通信制高校生との意見交流会

■第2回

◆日時：令和6年7月19日（金）10:00～12:00

◆会場：長浜まちづくりセンター

◆参加：6名

◆内容：こどもサポートルームなないろ、ここからについて情報共有

■第3回

◆日時：令和6年8月10日（土）10:00～12:00

◆会場：湖北福祉ステーション

◆参加：8名

◆内容：不登校支援の教職員、保護者等との意見交流会

■第4回

◆日時：令和6年10月13日（日）10:00～12:00

◆会場：ウォームアップスクールここから

◆参加：14名

◆内容：おっとなの活動紹介

②③ 福祉バス運営事業

市内で活動する福祉団体、ボランティア団体等が実施する様々な福祉事業（大会参加、研修事業、交流事業、ボランティア活動等）を支援するため、長浜市から委託を受け福祉バスを運行し、福祉団体活動の活性化、当事者団体による要援護者等の社会参加と交流を推進しました。

○貸出件数：44件 53台（大型バス23台、中型バス13台、小型バス17台）

○利用者数：1,341名

②④ 子ども食堂支援事業

子ども食堂の立ち上げ及び活動を支援することで、子どもと地域のつながりづくりを推進しました。また、新たに活動を始めたいと考えておられる方にも交流会への参加を呼びかけ、活動拡充の機会づくりに取り組みました。

○子ども食堂の新規立上げ、活動継続支援

市内子ども食堂数：18 団体

○県等が開催する研修会、交流会への参加支援

○子ども食堂団体代表者交流会の実施（全1回）※米原市社協との共催事業

■日 時：令和6年8月19日（月）10:00～12:00

内 容：講演：「楽しく学ぼう！子どもの心理」

講師：中島 みちる 氏

子民家エトコロ代表/人財育成・共育クリエイター

意見交換会

参加者：12名

○活動費の助成

■助成金交付団体：8団体

②⑤ 生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター設置）

高齢者に必要な生活支援等サービスの提供体制を構築するため、地域住民をはじめ生活支援等サービスを担う事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実、強化及び高齢者の社会参加などの支え合い活動を推進しました。

○生活支援コーディネーター、サロン支援員の活動実績

地区	活動件数	活動時間（時間）
市域（第1層）	1,080	1,462
サロン	1,102	729
長浜地区	250	307
六荘地区	170	176
南郷里地区	235	250
神照地区	309	296
北郷里地区	163	130
西黒田地区	251	239
神田地区	135	107
浅井地区	1,151	837
びわ地区	362	216
虎姫地区	419	401
湖北地区	270	339
高月地区	458	662
木之本地区	462	368
余呉地区	413	413
西浅井地区	277	283
合 計	7,507	7,215

○生活支援活動団体代表者交流会・研修会の実施

■第1回

日 時：令和6年7月9日（火）13:30～15:00

内 容：「ボランティア活動で役立つコミュニケーション」

講 師：会話の泉 事務局長 横山由紀子 氏

参加者：11名

■第2回

実施日：令和6年10月11日（金）

内 容：地域共生社会推進全国サミット in いこま

場 所：たけまるホール

参加者：57名

○生活支援サポーター養成講座の開催（福祉委員支援事業と合同開催）

■地域福祉講演会

日 時：令和6年7月28日（日）①10:00～11:30 ②13:30～15:00

内 容：「地域活動の楽しさ・やりがいとは～外出支援&スーパーの再建について～」

講 師：特定非営利活動法人加楽 理事長 楠神 渉 氏

参加者：①25名 ②33名

■地域福祉塾（2回連続講座）※第1回は台風のため中止

日 時：令和6年9月14日（土）10:00～12:00

内 容：「ここで・ともに・ぶじに・いきる～多世代で共に育む地域の未来～」

講 師：滋賀県立大学地域共生センター 特任講師 上田 洋平 氏

参加者：20名

○企業等との連携

■生活協同組合コープしが

- ・移動販売実施地区の状況共有、課題解決に向けた検討の場の開催
- ・移動販売実施地域の拡大に向けた、企業と地域住民との連携支援
- ・移動販売実施地域 5地域 西黒田・神田・上草野・田根・余呉地域

■株式会社平和堂

- ・店舗での定期的な居場所づくり・交流の機会創出、高齢者の介護予防に向けた体操提供
- ・健康づくりイベントの開催
- ・従業員向け認知症サポーター養成講座の実施による、店舗での見守り活動推進
- ・買い物困難者等、移動支援を必要とする高齢者の把握と地域住民の意向確認、支援体制の検討
- ・移動販売実施地区の状況共有、課題解決に向けた検討の場の開催
- ・移動販売実施地域の拡大に向けた、企業と地域住民との連携支援
- ・移動販売実施地域 4地域 びわ・杉野・高時・伊香具地域

■株式会社イケダ光音堂

- ・音楽に合わせて楽しみながら取り組める体操・口腔体操DVDの作製
- ・サロンや転倒予防教室への講師派遣支援によるフレイル予防の取組み

○高齢者向けスマートフォン講座の開催

「スマホではじめる！健康づくり講座」

高齢者がスマートフォンの基本的な操作方法を習得し、デジタルディバイド※解消を図るとともに、講座参加やアプリの活用をとおして生活にメリハリをつけ、健康づくりにつなげることを目指し、高齢者向けスマートフォン講座を開催しました。滋賀県へ「おうみデジタル活用サポーター」の派遣を依頼し、参加者の操作サポートの充実と満足度向上を図りました。

※インターネットやパソコン等のデジタル技術を扱うことができる人と不慣れな人との間に生じる格差

回数	開催日（1回90分）		開催場所	参加者数
第1回	令和6年	6月 4日（火）	長浜東部福祉ステーション	8名
			社協びわセンター	6名
6月 7日（金）		木之本福祉ステーション	9名	
第2回		6月11日（火）	長浜東部福祉ステーション	10名
			社協びわセンター	8名
6月14日（金）		木之本福祉ステーション	9名	
第3回		6月18日（火）	長浜東部福祉ステーション	10名
			社協びわセンター	6名

		6月21日（金）	木之本福祉ステーション	9名
第4回		6月25日（火）	長浜東部福祉ステーション	9名
			社協びわセンター	7名
		6月28日（金）	木之本福祉ステーション	7名
			合 計	98名

○サロン支援員業務

■サロン交流会

回数	開催日	開催場所	主な内容等	参加者数
第1回	令和6年 7月18日(木)	高月まちづくりセンター	「わいわいがやがや交流会 みんなでしゃべろう! 見せよう! 楽しもう!」 講師: ドコデモ 榎本 英樹 氏	35名
		湖北福祉ステーション		30名
	令和6年 7月19日(金)	長浜まちづくりセンター		37名
第2回	令和7年 3月 6日(木)	高月まちづくりセンター	「脳が喜ぶエクササイズのコツ~やる気スイッチ探し~」 講師: 健康運動指導士 ライフキネティック認定 トレーナー 大橋 ミドリ 氏	60名
		湖北福祉ステーション		65名
	令和7年 3月 7日(金)	長浜まちづくりセンター		62名
			合 計	289名

■さざなみタウン5周年マンスリーイベント

開催日	開催場所	主な内容等	参加者数
令和6年 12月5日(木)	長浜まちづくりセンター	「サロン30周年お祝い記念講演会」 講師: MOTTO ひょうご 事務局長 栗木 剛 氏	90名

■平和堂木之本店 健康づくり

開催日		開催場所	主な内容等	参加者数
令和6年	7月23日(火)	食品館前	・健康チェック	約60名
	10月29日(火)		・握力、口腔機能チェック	約60名

■平和堂アルプラザ長浜店 健康づくり

開催日		開催場所	主な内容等	参加者数
令和6年	7月27日（土）	おとな Re スペース	・健康チェック ・シセイカルテ	約60名
	9月22日（日）	セントラルコート	・健康まつり	188名
	10月13日（日）		・ボッチャ大会	31名
	12月14日（土）	おとな Re スペース	・健康チェック	約60名
令和7年	2月24日（月）		・シセイカルテ	約70名

■平和堂アルプラザ長浜店 おとなRe サロン

開催日		開催場所	主な内容等	参加者数
令和6年	5月28日(火)	おとな Re スペース	・座ってできる体操 ・リズム体操 ・レクリエーション	9名
	6月25日(火)			18名
	7月30日(火)			7名
	8月27日(火)			9名
	10月 1日(火)			13名
	10月29日(火)			8名
	11月26日(火)			10名
	12月17日(火)			17名
令和7年	1月28日(火)		13名	
	2月25日(木)		9名	
			合 計	113名

■小地域サロン交流会：12 地区 17 回 延べ参加者 546 名

■レクリエーション支援（一時支援）：102 団体

■サロン立ち上げ支援（継続支援）：11 団体（12 団体）

■サロン情報紙の発行：年6回（4月・6月・9月・10月・12月・2月）

②6 認知症サポーター等養成事業

認知症キャラバンメイトが地域住民に向けて開催する認知症の啓発活動を支援することで、認知症は身近な病気であることを住民に広く周知・啓発し、地域の認知症の理解者を増やし、地域ぐるみで認知症のある人と家族を見守る体制づくりを推進しました。

○認知症サポーター等養成講座

■地域・自治会等での開催：20 回（受講者数：352 名）

■絵本教室 小学校 21 回（受講者数：874 名）

中学校 9 回（受講者数：666 名）

義務教育学校 2 回（受講者数：87 名）

計 32 回（受講者数：1,627 名）

○認知症キャラバンメイト活動支援

■定例会開催支援：一般メイト：49 回 専門職メイト：5 回

■リーダー会開催

◆一般メイトリーダー会

日 時：令和6年5月27日(月) 13:30～14:45

場 所：湖北福祉ステーション

参加者：キャラバンメイト 11 名 関係者 16 名

◆専門職メイトリーダー会

日 時：令和6年5月28日(火) 16:00～

場 所：長浜まちづくりセンター3-A (Web 併用)

参加者：キャラバンメイト 5 名 関係者 4 名

○研修会開催

■第1回研修会（長浜市認知症キャラバン・メイト研修会）

◆日 時：令和6年7月24日(水) 13:30～15:00

◆場 所：湖北福祉ステーション

◆内 容：「高齢者の尊厳を守るために」

◆講 師：長浜市健康福祉部長寿推進課 地域包括支援第二係 木下 由紀子 氏

◆参加者：51 名

■第2回研修会

◆日 時：令和6年11月21日（木）13:30～15:00

◆場 所：湖北福祉ステーション

◆内 容：「みんなにやさしいまちづくり」

講 師：motto ひょうご事務局長 栗木 剛 氏

◆参加者：42 名

②7 フードバンク・フードドライブ支援事業

新型コロナウイルス感染症などの影響により、生活に困窮する方の支援として、特に食料を中心とした「寄付から配布」の流れをつくるフードバンク・フードドライブ※活動の支援

○フードドライブ（FD）協議／意見交換会

開催日		内容	参加者数
令和6年	5月26日（日）	フードバンクながはま今後の活動について相談	4名
	9月 3日（火）	フードバンク木之本塾の活動について共有	6名
	10月9日（水）	フードバンクながはまの今後の活動について協議	2名
	10月17日（木）	フードバンクながはまの今後の活動について共有	2名
	12月4日（水）	フードバンクながはま新規事業立ち上げの協議	4名
令和7年	3月 3日（月）	子どもの居場所づくり交流会	6名

○フードバンクながはま炊き出しの実施

開催日		利用人数
令和6年	5月26日（日）	110名
	7月27日（土）	100名
	10月4日（金）	100名
	11月28日（木）	130名
令和7年	2月22日（土）	70名

※フードバンク・・・主に企業や農家から発生する、まだ十分食べられるのに余っている食品を寄贈してもらい、食べ物を必要としている人のもとへ届ける活動及び団体を指します。

※フードドライブ・・・主に家庭で余っている食べ物を持ち寄り集めて、地域の福祉団体や、フードバンク等へ寄付する活動を指します。

②8 志でつながる支えあいの地域づくり事業

地域住民などが主体的に地域生活課題を把握し、解決を試みることができる環境の整備、地域生活課題に関する相談を包括的に受け止める体制の整備を推進し、地域共生社会の実現に向けた地域力の強化に努めました。

また、少子高齢化や核家族化の進行、人口減少、地域のつながりの希薄化など、地域社会を取り巻く複合・複雑化した課題に対応するため、相談支援機関等の連携を強化し、包括的な支援体制を構築するため、次の業務に取り組みました

○「暮らしの支えあい検討会」の開催：

■「圏域」※及び「地域共生のテーマ」ごとの課題解決にむけた会議、活動の検討や活動の実施にむけた取組みを実施（101取組）

■「圏域」及び「地域共生のテーマ」ごとの取組みを実施（127取組）

また、それらとは別に、市における第3期地域福祉計画に基づき、令和6年度内に長浜市全域を対象とした研修会等を開催

◆テーマ

・買い物支援と見守り活動 ・子どもが主役のまちづくり活動 ・外国人支援の取組み 他

※「圏域」とは本市では地区社協ごとの活動区域としています。

○研修会の実施

■「地域共生フォーラム2025」

◆日 時：令和6年12月9日（月）14:00～15:30

◆会 場：長浜市まちづくりセンター

◆参加者：75名

◆内 容：地域住民による見守り活動やつながり続ける支援について

②9 多機関協働事業

複合化・複雑化した地域生活課題や支援ニーズに対応するため、属性を問わない相談支援・参加支援・地域づくり支援を一体的に取り組み、相談支援機関等との連携を強化し、包括的な支援体制を構築するための取り組みを進めました。

○相談支援の実施

■相支援件数：158件 [内訳：今年度新規受理33件、前年度継続123件、再受理2件]

■個別支援連携会議：85件

■多機関協働事業によるかわりが終了した件数：26件

■社会資源のネットワーク開拓件数：12件

○出前講座の実施

■長浜第2地区民生委員児童委員協議会

日 時：令和6年4月17日（水）

テーマ：長浜市の断らない相談支援体制 参加者：18人

○他市との相互研修・視察受け入れ等

■高島市 ■亀岡市 ■京都府社会福祉協議会

③0 参加支援事業

本人等のニーズや課題等を把握し、既存の地域の社会資源や新たな社会資源の開拓などのコーディネートを行い、本人と社会とのつながり作りに向けた支援を行いました。

○受理人数：15人

受理後の内訳

[今年度新規受理2人、前年度継続9人、本人の都合により参加支援事業の中断4人]

・活動先：公的施設 2人

福祉事業所 4人

ボランティア団体 1人

民間企業、NPO法人等その他 13人

○参加支援事業によるかわりが終了したケース：6件

○参加支援事業の新規受入開拓数10件

○利用者本人と支援メニューのマッチング(活動内容や条件等の調整、環境整備等の調整)14件

○重層的支援会議 33件

(関係機関間の連携やプランの適切さ、支援の終結、資源の把握や創出等について検討するための会議)

③① 福祉とデザイン研究会（赤い羽根福祉基金助成事業 2年目/3か年）

「インクルーシブデザイン」※を活用した福祉分野だけでなく多分野による福祉課題解決のシステムづくりと活動の実践を行いました。

※インクルーシブデザイン

高齢者、しょうがい者、外国人、生きづらさを抱える人など、これまで製品やサービスのデザインプロセスから除外されてきた多様な人々を、巻き込みながら進めるデザイン手法のこと。「インクルーシブ（inclusive）」は「包摂（ほうせつ）的な、すべてを包み込む」という意味を持つ言葉。

■インクルーシブデザインチャレンジ！（セミナー）の開催

	開催日	場 所	参加者数	内 容
第1回	令和6年 7月6日（土）	神照まちづくりセンター	40名	インクルーシブデザインの講義とワークショップ
第2回	令和6年10月19日（土）		36名	
第3回	令和7年 2月15日（土）		41名	実践プロジェクト活動の報告トークショー

■実践プロジェクト活動

- ・グッジョブ×ジョブ（発達しょうがい児とよりよい就労を考えるチーム）
- ・ノリノリ's（音楽を活用した楽しい介護予防）
- ・suinner（当事者目線の新しい商品開発）
- ・ミラプロ（福祉を仕事にする人のすそ野をひろげるチーム）
- ・わだちPJ（マイノリティの社会モデル理解を楽しくひろげるチーム）
- ・平和堂（誰もがいつまでも安心して通えるお店づくりチーム）



■ホームページ（<https://fukushi-design.jp/>）の運用

福祉とデザイン研究会HP

③② トワイライトステイ事業（新規事業）

要保護児童対策地域協議会をはじめ地域の様々な主体やボランティアと連携し支援が必要な子どもの夜の居場所をつくります。また、居場所をとおして地域で見守りができる体制や関係づくりを推進します。

■支援が必要な子どもの夜の居場所づくり

■フードバンクや子ども食堂、民生委員・児童委員、ボランティアと連携した地域の見守り体制づくり

■内容：送迎、食事、入浴、学習支援、遊び

○開催実績

	開催時間	開催日数	利用世帯	利用者数 （実）	利用者数 （延べ）	ボランティア 数（延べ）
南部会場	17時～20時	17日	2世帯	2名	17名	19名
北部会場	17時～20時	50日	5世帯	13名	180名	103名

③③ ながはまスマホサポーター養成事業（新規事業）

デジタルデバイド（情報格差）対策として、高齢者等に対するデジタル支援を行うボランティア（スマホサポーター）を養成し、その活動の支援に取り組みました。

■スマホサポーター養成講座の開催 全3回 参加者数10名

■スマホサポーター「デジサポ隊」の結成 登録10名

■「デジサポ隊」の活動支援 定例会の実施 毎月第2金曜日 7回実施

(2) ボランティア支援

① ボランティアセンター事業

ボランティア活動を支援し住民参画による地域福祉の推進を図りました。地域住民が幅広くボランティア活動に参加できるよう、活動に関する相談、情報・資料の提供、講座の開催やボランティア活動に対する啓発、また活動者が安心して活動ができるようボランティア活動保険の加入の推進に努めました。

○ボランティア登録団体数 234 団体 (R7.3.31 現在)

○ボランティアコーディネート件数

■ボランティア派遣回数 169 件

○ボランティア団体の活動支援

■ボランティア活動助成について

◆助成団体数：89 団体 (1 団体上限 40,000 円)

◆助成金額：3,153,300 円

○ボランティア講座の開催

講座名	主な内容	回数	受講者数
初級手話教室	手話の基礎研修 (土曜コース・平日コース)	6回	78 名
子どもボランティア講座	福祉やボランティアを考える	2回	13 名
ボランティア講座	現活動者向けボランティア講座・交流会	2回	31 名

○情報紙の発行 ※【広報紙の発行】参照

○ボランティア登録の推進

■新規登録 団体：17 団体、個人 2 名

○ボランティア発表会

■平和堂アル・プラザ長浜店セントラルコートにて、ボランティア発表

第 1 回：令和 6 年 5 月 25 日 (土) 参加団体数 2

第 2 回：令和 6 年 11 月 3 日 (土) 参加団体数 3

■平和堂アル・プラザ長浜店 (ボランティア展示会)

◆戦争を語り継ぐ会 展示発表

○ボランティア保険の加入促進と事務取扱

■ボランティア保険取扱数

◆ボランティア活動保険 3, 307 名

◆ボランティア行事用保険 290 件 (延べ 753 日)

◆送迎サービス補償保険 1 件

◆福祉従事者保険 17 件

■事故・変更対応取扱数

◆事故対応 1 件

○ボランティア連絡協議会への支援：3 団体 (地区)

■市内ボランティア連絡協議会活動費助成金

◆助成団体数：1 団体

◆助成額：50,000 円

■市内 3 つのボランティア連絡協議会会議

◆会議開催：38回

◆事業数：3回

■市内ボランティア連絡協議会代表者会の開催

◆会議開催：1回

○ボランティア活動の啓発（広報・社会福祉大会等の開催）

■福祉啓発（小学校募集：標語・ポスター）

◆標語 16小学校 878名（作品）

◆ポスター 15小学校 417名（作品）

○ながはま市民協働センターとの連携

■相談と雑談の間～ワークスペース～

日時：毎月第2木曜日 10:00～19:30

内容：ボランティア・市民活動者に関する相談

共同開催：ながはま市民協働センター

■どうする！？大相談会

日時：令和6年9月28日（土）13:00～17:00

内容：ボランティア活動に関する相談

参加者：23名

共同開催：ながはま市民協働センター、長浜ビジネスサポート協議会、日本政策金融公庫

■みんなでつながる広場

日時：令和7年3月2日（日）13:30～16:00

内容：団体情報交換会

参加者：74名

共同開催：ながはま市民協働センター、長浜まちなか地域づくり連合会

② 災害ボランティアセンター体制整備事業

災害ボランティアセンターの体制整備を図り万が一の災害時に対応して、円滑なセンターの設置及び運営が実施できるよう準備するとともに、併せて市民啓発を行うことで地域住民の災害に対する関心を高めました。

○災害ボランティアセンターの啓発

■防災出前講座

◆講座開催数：16回

◆内容：災害時体験講座「いざメシ」を作ろう、災害ボランティアセンターの役割等

■防災ファミリーフェス

◆開催日：令和6年11月17日（日）

◆内容：小学生を対象とした防災啓発活動

防災ゲーム・クイズ、防災・避難グッズ展示、消防車・給水車展示

◆参加：900名

○災害ボランティアセンター運営関係

■災害ボランティアセンターサポーター養成講座

◆開催日：令和6年7月13日（土）

◆内容：災害ボランティアセンターサポーターの養成

◆講師：office 園崎 園崎 秀治 氏

◆参加者：17名

※災害ボランティア登録数 62名（令和7年3月31日現在）

■長浜雪かき道場

◆日 時：令和6年12月21日（土）10:00～12:00、13:30～15:00

◆内 容：雪かきに関する知識を学ぶ「座学」「実技」

◆参加者：17名

■雪かき支援活動

[第1回]

◆日 時：令和7年2月11日（火）9:00～16:00

◆場 所：余呉町中河内自治会

◆内 容：除雪作業等

◆参加者：ボランティア延べ16名

[第2回]

◆日 時：令和7年2月15日（土）9:00～12:00

◆場 所：余呉町中河内自治会

◆内 容：除雪作業等

◆参加者：ボランティア延べ5名

○令和6年能登半島地震被災地支援

■災害ボランティアセンター運営支援

派 遣 先：七尾市災害ボランティアセンター

派遣人員：3名

派遣期間：令和6年4月 2日～ 6日

令和6年5月16日～20日

令和6年6月13日～17日 （合計15日間）

③ 福祉教育推進事業

市内の小学校・中学校・高等学校・養護学校等との連携を基盤として、福祉への理解と関心を深め、思いやりの心を育てるため、児童・生徒が身近にボランティア活動や福祉活動に取り組める福祉教育の推進に努めました。また高等学校や大学、福祉施設等において、体験をとおした思いやりや助け合う意識力を高める取り組みも行いました。

○支援学校数

■小中学校 28校（延べ5,536名）

■養護学校 1校

■その他（高等学校、大学、施設等） 1校（団体）

○学習プログラム支援

■支援時間数：193時間

■主な学習プログラム

◇インスタントシニア体験 ◇車いす体験 ◇手話について学ぶ

◇点字について学ぶ ◇要約筆記について学ぶ ◇アイマスク体験

◇しょうがい者等当事者からの体験談 ◇ボランティア学習 ◇災害 他

○滋賀大学との連携（福祉を伝える～福祉教育をテーマ）

■実施日：令和6年9月2日（月）～ 9月5日（木）

■内 容：福祉教育プログラムの開発

④ ながはま・ファミリー・サポート・センターの運営

市内の子育て世帯の支援を目的に、援助を行うボランティアと、援助を希望する住民をマッチングし「地域による子育て」を推進し、労働者等の福祉の増進及び児童の福祉の向上を図りました。

○会員組織に関すること

■ボランティア、利用者の募集及び会員登録

登録会員数：426人

内訳 おねがい会員 246人 まかせて会員 151人 どっちも会員 29人

新規登録会員数：おねがい会員 13人 まかせて会員 1人 どっちも会員 5人

■会員による援助活動とマッチング

活動件数 324件

新規マッチング数：13件

○研修・交流・広報に関すること

■援助活動の研修会・交流会の開催

◆研修会（会場：さざなみタウン）

	開催日	内 容	参加者数
第1回	令和6年5月23日（木）	『絵本の読み聞かせとそのポイントについて』 講師：長浜図書館司書	7名
第2回	令和6年9月 6日（金）	『こどもの病気（症状）とケア～受診までにできること～』 講師：まちのほけんしつ 保健師 中川 瞭子 氏 共同開催：湖北こどもの医療連携ネットワーク	23名
第3回	令和6年11月8日（金）	『子育てにおいて、最も大切にしたいこと』 ～その子の才能や心を育むために心がけたいこと～ 講師：中村 多恵子 氏	8名

◆交流会（会場：さざなみタウン）

	開催日	内 容	参加者数
第1回	令和6年8月21日（水）	子育てタウンりっぷる合同企画 『子どもと家族のお家ごはん』 おかずみそ汁とふりかけバイキング&簡単 手軽なお出汁の話 講師：田中 裕子 氏	27名
第2回	令和6年12月25日（水）	『ハンドベルの演奏&ハンドベル体験』 講師：びわベルスターズ	19名

◆救命講習会（会場：さざなみタウン）

	開催日	内 容	参加者数
第1回	令和6年7月11日（木）	普通救命講習 講師：長浜消防署職員	13名

■センターの広報に関すること

情報誌『ホットタイム』の発行 2回

公式LINEでの情報発信

■その他 関係機関との連絡調整に関する業務

こども家庭支援課、幼児課、健康推進課、対象園との情報共有

(3) 生活相談支援

① 地域福祉権利擁護事業

判断能力が不十分なため権利侵害を受けやすい認知症・知的しょうがい・精神しょうがいのある方等に対して、福祉サービスの利用手続きの支援をはじめ、日常的な金銭管理、書類等の保管などを行いました。福祉サービス・行政サービス等を適切に利用できるよう支援し、また不当な権利侵害等を未然に防ぐことに努め、地域で安心して生活が送れるように支援しました。

(援助内容)

○福祉サービスの利用援助

○日常的金銭管理

○書類等預かりサービス

	認知症 高齢者	知的 しょうがい者	精神 しょうがい者	合 計
利用者数 (令和7年3月31日現在)	101 名	98 名	77 名	276 名
新規利用者数	23 名	8 名	12 名	43 名
利用終了者数	34 名	8 名	3 名	45 名
相談援助回数	9,906 回	10,542 回	7,822 回	28,270 回

② 成年後見事業（成年後見権利擁護センター）

判断能力が不十分で、契約などの法律行為等について自己の判断で適切に行うことが困難な方に対し、本人の判断能力に応じ、意思決定が最大限尊重されるよう本会が成年後見人等となり、財産管理・身上監護・その他必要な法律行為を行いました。

また、市の委託を受けて長浜市成年後見・権利擁護センターを運営し、成年後見制度や利用手続き支援、地域の中で権利擁護体制の基盤を作るための啓発講座等を実施しました。

○法人後見事業（財産管理・身上監護・その他、本人の権利擁護に必要な法律行為等）

■法人後見受任

	受任件数 (令和7年3月31日 現在)
後見類型	8 件
保佐類型	3 件
補助類型	1 件

○成年後見サポートセンター事業

■広報・啓発事業

出前啓発活動	関係団体：5 団体 受講者：106 名		
啓発講座の開催	開催日	内容等	参加者数
	令和6年7月18日(木)	成年後見制度の基礎	39 名
	令和6年8月7日(水)	任意後見制度について	39 名
	令和6年9月9日(月)	対人援助の視点と技術	46 名
	令和6年10月2日(水)	意思決定支援	36 名
啓発資料の作成	カレンダー・年齢早見表：2,000 部		

■成年後見サポーター養成講座

成年後見及び地域福祉権利擁護事業の担い手を育成するサポーター養成講座を開催しました。

成年後見サポーター養成講座の開催 (全5回)	開催日	内容等	参加者数
	令和6年8月22日(木)	成年後見制度の理解を深めよう	21名
	令和6年9月5日(木)	しょうがいの理解・しょうがいのある人への権利擁護支援	21名
	令和6年9月19日(木)	任意後見制度について	23名
	令和6年10月3日(木)	① 認知症への理解及び相談援助の方法 ② 消費生活の理解	23名
	令和6年10月17日(木)	後見事務の方法 ～成年後見制度の申立て方法について～	24名

■相談支援 526件

事項 (対象)	区分	本人 (件)	親族 (件)	福祉・ 医療関 係者 (件)	司法 関係者 (件)	行政 (件)	合計 (件)	実人数 (名)
成年後見 制度等に 関する相 談	認知症高齢者	38	81	209	5	53	386	143
	知的しょうがい	1	7	25	0	3	36	15
	精神しょうがい	16	9	33	0	1	59	22
市長申立 手続きに 係る相談	認知症高齢者					45	45	22
	知的しょうがい					0	0	0
	精神しょうがい					0	0	0
合 計		55	97	267	5	102	526	202

■申立支援 122件

区分	本人	親族	行政	合計	実人数
認知症高齢者	16件	75件	23件	114件	37名
知的しょうがい	0件	1件	0件	1件	2名
精神しょうがい	0件	7件	0件	7件	3名
合 計	16件	83件	23件	122件	42名

■成年後見受任者支援 成年後見制度受任者情報交換会

開催日	開催内容	参加者数
令和7年2月26日(水)	後見人と本人を結ぶチーム支援のあり方	27名

■くらしの困りごとなんでも相談会(ワンストップ相談会)の開催

開催日	開催場所	相談件数
令和6年11月15日(金)	長浜市役所本庁舎	14組

■長浜市成年後見受任調整会議の開催

開催日	開催場所	件数
令和7年3月4日(火)	長浜市地域福祉センター	1件

■関係者協議会

開催日	開催場所	内容
令和6年7月26日(金)	長浜まちづくりセンター	第1回関係者協議会
令和7年2月12日(水)		第2回関係者協議会

■地域連携ネットワーク会議

開催日	開催場所	内容
令和6年 6月19日(水)	長浜まちづくりセンター	家族の間で意見に相違がある場合の申立てについて
令和6年 9月13日(金)		コミュニケーションに支援が必要な方への権利擁護支援について
令和6年12月19日(木)		成年後見制度以外の権利擁護支援方法について

③ よろず相談事業

広く住民の日常生活上の悩みや心配ごとの相談を受け、適切な情報の提供を行い、地域住民の福祉増進と、生活の安定を図れるように努めました。

○開設日時・場所

開設場所	開設日	開設時間
長浜市社会福祉センター (専用電話 63-4811)	毎週月・火・水・金曜日	午後1時～午後4時
	毎週木曜日	午前10時～正午
湖北福祉ステーション	毎月第4水曜日	午前10時～正午
木之本福祉ステーション	毎月第4木曜日	午前10時～正午

○相談実績

区 分	開設日数	相談件数
1. よろず相談	①一般相談 192日	178件
	②専門相談 51日	19件
2. 法律相談	24日	119件
合 計	267日	316件

○よろず相談員研修会

開催日	内容	参加者数
令和6年11月20日(水)	相続における司法書士の業務について	17名

④ 生活福祉資金貸付事業(受託事業)

滋賀県社会福祉協議会からの受託事業として、低所得世帯、高齢者世帯、しょうがい者世帯を対象に、必要な資金の貸付及び生活相談を行うとともに、民生委員・児童委員の指導、援助を受けることで経済的自立及び生活意欲の助長・促進ならびに在宅福祉や社会参加の促進を図り、安定した生活に向けての支援を実施しました。また、特例貸付の償還が始まったことを受け、償還に向けての相談を必要に応じて行いました。

■総合支援資金・福祉資金・教育支援資金 34 件

資金種別	貸付件数
総合支援資金	0 件
福祉費	9 件
緊急小口資金	10 件
教育支援資金	15 件

■貸付相談（特例貸付償還に向けての相談含む） 1,201 件

⑤ たすけあい資金貸付事業

緊急的に生活維持費が必要な世帯に対し、生活資金を貸付けることにより安定した生活が営めるよう支援を行いました。

- 新規貸付件数 33 件
- 新規貸付額 1,310,000 円
- 年度末貸付件数 80 件
- 年度末貸付額 2,338,500 円（令和 7 年 3 月 31 日現在）

⑥ 緊急食料給付事業

低所得世帯等で緊急的に食料給付が必要な世帯に対し食料品を給付し、当該世帯の生活維持の支援を行いました。また、電気・ガスの供給停止等により給付する食料の調理が困難な場合には、調理器具を貸与しました。

- 緊急食料給付件数 44 世帯（実人数 55 名）
- 調理器具貸与件数 0 件

⑦ 湖北基幹相談支援センターふらっとの運営

1) 計画相談事業

しょうがい福祉等の総合相談窓口として、本人やご家族、関係者からの相談に応じ、必要な情報提供や助言、サービス利用計画の作成等の支援を行うとともに、福祉サービスや制度利用についての情報提供及び利用支援を行いました。

福祉サービスを利用または利用見込みのしょうがい児・者に対して計画相談支援に基づくサービス等の利用計画の立案を行い、適切なサービスを利用し安心して生活できるよう支援しました。また、定期的にサービス利用状況のモニタリング及びアセスメントを行いサービス計画の適切な見直しを実施しました。

○個別相談援助業務

サービス等利用計画作成契約者数 264 名（令和 7 年 3 月 31 日現在）

	延べ支援件数
しょうがい福祉サービス等の利用援助	8,938 件
生活支援に関する計画作成	322 件
ケアプラン作成後のモニタリングの実施	715 件
サービス調整連絡会議の開催	99 件

○しょうがい福祉に関する調整業務等

■成年後見制度の利用支援：長浜市成年後見権利擁護センターと連携し、利用支援及び情報提供しました。

■長浜米原しょうがい者自立支援協議会への参画と協働・連携体制の構築

- ◆全体会 年間2回
- ◆社会資源・環境部会 権利擁護・虐待防止班 12回
- ◆その他研修会等への参加
- 職員定例会の開催と情報共有・連携体制の構築 12回
- 共同体定例会議（管理者会議、実務者会議） 24回
- 相談員の資質向上研修参加 4回

2) 基幹相談支援センター（受託事業）

長浜市及び米原市におけるしょうがい相談支援体制強化の中核的な役割を担うために、湖北基幹相談支援センターを運営しました。

湖北福祉圏域のしょうがい福祉にかかる課題整理とニーズの分析を行い、しょうがい児・者自らが選択した場所で、希望する生活を続けることができるよう圏域の相談支援体制強化の取組、しょうがい福祉専門職の人材育成、関係機関ネットワークの構築に向けた取り組みを進めました。

また、長浜米原しょうがい者自立支援協議会を運営し、福祉関係者だけでは解決できない地域課題に対して、医療・教育・就労・行政その他専門機関が連携し、課題解決に向けた取り組みを継続的に実施しました。

○二次相談※1、伴走支援※2

※1 相談支援事業所相談員への助言、アドバイス等の後方支援や専門機関へのつなぎ

※2 困難ケース等を対象に基幹相談支援センター職員が相談支援事業所相談員の伴走を行う

基幹相談支援センターが二次相談を担う圏域の相談支援事業所7カ所を中心に二次相談や伴走支援を実施しました。

■相談支援事業所の二次的対応 125回

■伴走支援 20回

○巡回相談、事例検討会

基幹相談支援センターが二次相談を担う圏域の相談支援事業所7カ所に巡回相談と事例検討会を実施しました。

■7事業所への巡回相談 18回

■7事業対象の事例検討会 5回 参加者計46名

○会議の開催

■相談支援専門員研修企画会議 8回

■基幹センター運営会議 12回

■相談支援の振り返り検討会プロジェクト会議 2回

■事業所等連絡会 6回 参加者計154名

■施設入所調整会議 2回

■事業所訪問 8ヶ所

■長浜米原しょうがい者自立支援協議会（事務局会議・運営会議・全体会議） 20回

○研修会の開催

連続基礎講座の開催 (全7回)	開催日	内容等
	令和6年 6月10日(月)	福祉の仕事を楽しく続けるコツ
	令和6年 7月 8日(月)	消費者トラブルとその対応
	令和6年 8月19日(月)	しょうがい分野の福祉用具と住宅改修
	令和6年 9月 9日(月)	精神しょうがい者との関わり方
	令和6年10月 7日(月)	救命講習～応急手当を学ぼう～
	令和6年11月11日(月)	聴覚しょうがい者への理解
	令和6年12月 9日(月)	湖北地域のしょうがい福祉について ～地域づくりの仕組みを体験しよう～

相談支援事業所連絡会(全4回)	開催日	内容等	参加者数
	令和6年 5月16日(木)	令和6年度障害福祉サービス等報酬改定について	35名
	令和6年 7月11日(木)	多職種連携について	22名
	令和6年10月11日(金)	医療機関との連携について	31名
	令和7年 2月13日(木)	家庭医療学の支援アプローチ～相談員の自己理解と心構え～	35名

相談事業所全体事例検討会	開催日	内容等	参加者数
	令和6年 7月11日(木)	多職種連携について	22名

福祉サービス提供事業所職員向け研修会	開催日	内容等	参加者数
	令和6年 6月 7日(金)	防災研修(災害想定ゲームKIZUKI)	36名
	令和6年11月22日(金)	虐待防止研修 (しょうがいのある方と共生するまちづくり)	47名

関係機関・地域への研修会(出前講座)	開催日	対象
	令和6年 5月28日(火)	高島市障がい者自立支援協議会 第1回全体会議
	令和6年 6月18日(火)	就労支援センターあっぱれと
	令和6年 9月26日(木)	医療的ケア児者対応事業所 新規事業所開設講習
	令和6年11月10日(日)	人権・防災研修会(唐川自治会)
	令和7年 3月 8日(土)	NPO法人CIL だんない14周年記念事業

○長浜米原しょうがい者自立支援協議会の活動

専門部会等	回数	専門部会等	回数
就労選択支援サービスプロジェクト会議	10回	地域生活塾プロジェクト会議	12回

「誰もが住みよいまちづくり」活性化プロジェクト（仮称）準備室	3回	生活の充実部会	2回
ステップアップ推進班	7回	当事者サポーター推進班	10回
ライフステージ専門性部会	2回	地域移行推進班	5回
専門的人材班	6回	学齢期班	5回
社会資源環境部会	4回	成人高齢班	6回
重介護医療ケア検討班	11回	権利擁護虐待防止班	16回
あるべき姿検討班	3回	その他会議	18回
合 計			120回

○しょうがい福祉に関する啓発活動

■ホームページ（<https://www.kohoku-kikan.jp/>）の運用 閲覧数 10,390回

⑧ 学習支援事業（新規事業）

生活困窮世帯等の貧困の連鎖を防止するため、子どもの学習習慣の定着と学力の育成を図る支援に取り組みました。

■ながはま夢さくら塾

教室名	開校日	開校日数	登録者数	参加者数
高田教室（さざなみタウン）	毎週月、水	80日	41名	1,177名
木之本教室（木之本福祉ステーション）	毎週水、金	88日	4名	122名

※対象者 市内在住で生活保護受給または就学援助を受けている世帯の中学1年生～中学3年生

2. 在宅介護サービス

地域に信頼される事業所としてサービスを提供できるよう人材育成の取り組みに特に力を入れ取り組んできました。昨年度に引き続き所長・リーダー層の研修を年間通じて実施し、職員の成長につなげるための人事考課項目の見直し、職員面談の実施などを通じて、より良いサービスの提供に向け取り組みを進めました。

また、収益確保のため、積極的に居宅介護支援事業所、地域包括支援センター等への事業内容の周知に力を入れ関係強化に取り組みました。

(1) 居宅介護支援事業所

①居宅介護支援事業（介護保険事業）

②介護予防支援事業（受託事業）

3事業所 シャきょうケアプランセンターひいす（北部福祉ステーション）
 シャきょうケアプランセンターえいる（湖北福祉ステーション）
 シャきょうケアプランセンターらいと（西浅井福祉ステーション）

（居宅介護支援事業実績）

（延利用者数 [単位：名]）

区 分		事業所			合 計	前年度	前年比
		ひいす	えいる	らいと			
常勤換算数（名）		4.8	4.6	4.6	14	15.5	90.3%
利 用 者 数	事業対象者（名）	12	0	0	12	16	75.0%
	要支援者（名）	643	477	528	1648	1409	117.0%
	要介護者（名）	1,920	2,011	1,956	5887	5,556	106.0%
	合 計（名）	2,575	2,488	2,484	7547	6,981	108.1%
平均持ち件数（名） ※1		37.1	39.3	38.6	38.3	32.4	118.5%

※1 平均持ち件数 = { (事業対象者 + 要支援者) ÷ 2 + 要介護者 } ÷ 常勤換算数 ÷ 12か月

(2) 訪問介護事業所 (ホームヘルプサービス事業)

- ①指定訪問介護 (介護保険事業)
- ②総合事業訪問介護 (介護予防日常生活支援総合事業)
- ③居宅介護 (障害者総合支援事業)
- ④重度訪問 (障害者総合支援事業)
- ⑤同行援護 (障害者総合支援事業)
- ⑥しょうがい者等移動支援事業 (市受託事業)
- ⑦養育支援訪問事業 (市受託事業)
- ⑧自費サービス (介護保険外サービス)

2事業所 しゃきょうヘルパーステーションこくあ (浅井福祉センター)

しゃきょうヘルパーステーションあとれ (伊香の里)

(ホームヘルプサービス事業実績)

(延利用者数 [単位: 名])

区 分	こくあ	あとれ	合計	前年度合計	前年比
訪問介護事業 (介護保険事業)	13,524	13,620	27,144	26,264	103.3%
身体介護	7,704	9,270	16,974	15,746	107.7%
身体・生活	3,383	3,485	6,868	6,519	105.3%
生活援助	2,437	865	3,302	3,999	82.5%
総合事業訪問介護事業 (介護予防日常生活支援総合事業)	2,096	2,525	4,621	4,812	96.0%
居宅介護事業 (障害者総合支援事業)	5,457	2,948	8,405	10,605	79.2%
身体介護	4,021	1,732	5,753	7,684	74.8%
家事援助	1,396	1,189	2,585	2,857	90.4%
通院介助	40	27	67	64	104.6%
重度訪問介護事業 (障害者総合支援事業)	0	0	0	165	0%
同行援護事業 (障害者総合支援事業)	109	100	209	260	80.3%
しょうがい者移動支援事業 (市受託事業)	0	25	25	31	80.6%
養育支援訪問事業 (市受託事業)	0	0	0	41	0%
合計	21,186	19,218	40,404	42,178	95.7%

(3) 通所介護事業所 (デイサービス事業)

- ①通所介護事業 (介護保険事業)
- ②総合事業通所介護事業 (介護予防日常生活支援総合事業)
- ③共生型生活介護 (しょうがい福祉サービス事業) 【デイサービスいろはの湯・しゃきょうデイサービス高月で実施】

9事業所（デイサービス事業実績）

（延利用者数 [単位：名]）

区 分	開所日数 (前年比)	延利用者数 (名)		前年度 (名)	前年比	定員 開所日
リハビリデイサービス 東部	309 (+1)	介護サービス	5,727	5,502	104%	35名 週6日
		介護予防サービス	652	980	66.5%	
		計	6,379	6,482	98.4%	
神照リハビリデイサービス	258 (- 3)	介護サービス	5,419	5,369	100.9%	35名 週5日
		介護予防サービス	1,547	1,741	88.8%	
		計	6,966	7,110	97.9%	
リハビリデイサービス 浅井	309 (+1)	介護サービス	5,182	5,239	98.9%	35名 週6日
		介護予防サービス	699	721	96.9%	
		計	5,881	5,960	98.7%	
デイサービスいろはの湯	255 (0)	介護サービス	4564	4276	106.7%	30名 週5日
		介護予防サービス	592	786	75.3%	
		共生型サービス	417	355	117.4%	
		計	5573	5,417	102.9%	
リハビリデイサービス 湖北	309 (+1)	介護サービス	6,403	6,017	106.4%	35名 週6日
		介護予防サービス	317	614	51.6%	
		計	6,720	6,631	101.3%	
しゃきょうデイサービス 高月	310 (+2)	介護サービス	6,566	6,389	102.8%	35名 週6日
		介護予防サービス	588	710	82.8%	
		共生型サービス	47	134	35.1%	
		計	7,201	7,233	99.6%	
リハビリデイサービス 伊香の里アネックス (木之本)	309 (+1)	介護サービス	4,287	4,527	94.6%	35名 週6日
		介護予防サービス	1,133	1,083	104.6%	
		計	5,420	5,610	96.6%	
リハビリデイサービス 西浅井	309 (- 1)	介護サービス	7,779	8,535	91.1%	40名 週6日
		介護予防サービス	1,383	1,330	103.9%	
		計	9,162	9,865	92.8%	
しゃきょうデイサービス 伊香の里	309 (+1)	介護サービス	6,035	5,677	106.3%	40名 週6日
		介護予防サービス	1,582	1,667	94.9%	
		計	7,617	7,344	103.7%	
合 計	—	介護サービス	51,962	51,531	100.8%	—
		介護予防サービス	8,493	9,632	88.1%	
		共生型サービス	464	489	94.8%	
		計	60,919	61,652	98.8%	

(4) 地域密着型介護事業所

(ひなたぼっこ実績) 登録者定員 20 名・通所介護定員 10 名

区 分		実績 (名)	前年度 (名)	前年比
登録者平均数		17.4	14.0	124%
延利用者数		6,924	4,481	154%
利用サービス	訪問延利用者数	4,334	2,528	171%
	通所延利用者数	2,431	1,822	133%
	宿泊延利用者数	159	121	131%

※小規模多機能型居宅介護：要支援や要介護状態となっても可能な限り住み慣れた自宅や地域での生活が維持できることを目的としたデイ・ヘルプ・ショートを一体化させ、同じ施設でサービスを提供します。利用者とスタッフがなじみの関係が築けるよう区域を限定した小規模な施設となります。

(5) その他の取組み

①こほく健康づくり広場事業

長浜市内の高齢者を対象に、トレーニングマシンによる運動の場所を提供し、運動・活動の意欲を引き出し、身体機能の低下防止を図るとともに、生きがいづくりや社会参加の場として広場の運営を行いました。

○開催場所 湖北センター

○開催実績

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用者数	376 名	349 名	339 名	338 名	252 名	261 名
開催月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	334 名	328 名	309 名	305 名	245 名	288 名

②介護・介護予防出前講座

介護予防の推進、家庭介護者の負担軽減を図るため、各事業所の専門職員が、自治会、老人会、サロン等の地域へ出向き、介護、介護予防、認知症予防等の講座を実施しました。

実施件数：32 件 内容：介護予防講座等

③通いの場健康づくり教室（市受託事業）

サロン等で高齢者が集い交流する通いの場にて、フレイルを予防する体操の指導及び効果の測定、健康教育、健康相談を実施しました。

理学療法士等が各グループへ2回訪問し、日頃の体操の指導や運動機能評価（体力測定）、介護予防講座を実施しました。

※フレイル： 健康から要介護へ移行する中間の段階。具体的には、加齢に伴い筋力が衰え、疲れやすくなり家に閉じこもりがちになるなど、年齢を重ねたことで生じやすい衰え全般を指しています。

実施地域 12 か所 延べ参加者数 300 人

④その他

(介護実習生受入)

各サービスにおいて介護職を目指す生徒・学生・社会人等を実習生として受入れ、介護への理解と将来の実践者教育としての指導を行いました。

介護実習依頼元	受入事業	受入人数	期 間
滋賀県立看護専門学校	通所介護他	64 名	9 月 4 日～ 9 月 18 日
龍谷大学	通所介護他	1 名	12 月 9 日～12 月 24 日
滋賀県社会福祉協議会	居宅介護支援事業	1 名	1 月 23 日～ 2 月 18 日
大原医療福祉製菓専門学校	通所介護	1 名	2 月 1 日～ 3 月 31 日

3. 施設介護事業

コロナ感染症が5類へと移行され、段階的にコロナ以前の施設を取り戻す取り組みを行ってきました。コロナ以前の良いところとコロナ対策時に検討し実施してきたことを併せ、利用者家族との関係や現在のサービスの質を低下させないための取り組みを行いました。

委員会活動はリモート開催を中止し対面で実施。全体取り組みから個別ケアまでコロナ以前の充実した委員会活動に戻すことができました。研修会は、コンサルによる研修を活用し、対面研修以外に、動画研修を充実させ、交代勤務であってもすべての職員が研修を受けることができる体制を強化いたしました。また、介護福祉士会と合同で外部講師を招き、施設間を超えた刺激ある研修会も開催することができました。介護サービス事業者協議会や老人福祉施設協議会など各団体との繋がりにより、職員の資質と意欲の更なる向上を図り、利用者の満足度向上に繋がる取り組みを行いました。

設備面では、公益財団法人 JKA の「2024 年度福祉機器の整備補助事業」を活用し、デイサービスと特別養護老人ホームの老朽化した特殊浴槽を更新いたしました。ナノバブル等最新機器の導入により利用者の満足度アップや、より安全な介護の提供と介護負担の軽減を図りました。

感染予防に関しては、次亜塩素酸水での入館前の手洗いの実施、検温、マスク着用の徹底により感染者クラスターの発生を防止し安心して利用いただける対策を行いました。面会制限を行うことなく家族等多くの方に来所いただき、令和6年度の面会総数は2,254組で3,459名の方々に来所いただきました。

運営改善として、利用者の稼働率目標を設定し、コロナやインフルエンザなど急なキャンセル対応を徹底し、感染症に負けない体制づくりの強化にて、稼働率アップを成功させました。

利用者の満足度向上や安心した生活の提供に加え、物価高騰に負けない体制づくりを進めました。

(1) 特別養護老人ホーム

①介護老人福祉施設（介護保険事業）

②短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業（介護保険事業）

○介護老人福祉施設（介護保険事業）

■稼働率（％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度平均
稼働率(%)	98.05	95.72	92.36	95.05	97.72	99.20	99.39	98.10	97.72	96.89	96.74	95.94	96.90	96.80

■介護度別入所者数（月末在籍者数） 単位：名

介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度平均
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1
要介護3	13	12	14	14	14	14	14	14	14	14	13	14	13.7	16.4
要介護4	23	24	24	23	24	24	23	21	22	23	23	23	23.1	27.2
要介護5	21	19	20	18	20	20	21	21	21	21	21	21	20.3	14.3
合計	57	55	58	55	58	58	58	56	58	58	57	58	57.2	57.9
退所者数	3	4	3	5	1	0	0	2	2	0	2	0	1.8	1.2
入所者数	2	2	6	2	4	0	0	0	3	1	1	1	1.8	1.3
入院者数	2	5	6	3	0	1	1	3	3	3	3	6	3.0	4.3

○短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業（介護保険事業）

■稼働率（％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度平均
稼働率(%)	100.28	106.99	101.39	105.65	107.26	100.56	99.19	108.61	98.92	99.46	109.23	108.33	103.82	101.35

■介護度別利用者数（上段：延べ人数 下段：実人員） 単位：名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年度平均
要介護1	33	38	43	45	49	36	55	51	44	75	61	52	49	28
	6	7	7	7	9	6	7	6	8	8	10	10	8	5
要介護2	53	50	52	36	45	38	52	47	66	51	65	69	52	82
	6	7	9	6	7	9	9	7	1	9	9	13	8	11
要介護3	100	101	63	75	93	80	66	78	100	112	103	107	90	103
	10	9	8	9	10	10	10	8	9	12	12	13	10	11
要介護4	80	84	81	93	100	108	104	97	53	56	71	89	85	86
	10	10	9	9	10	11	12	13	8	7	7	9	10	10
要介護5	92	123	126	137	110	98	90	116	98	76	67	86	102	70
	12	15	13	13	11	14	13	12	10	8	9	9	12	10
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	3	2	0	7	2	2	2	2	7	0	0	0	2	3
	2	1	0	2	1	1	1	1	2	0	0	0	1	1
合計	361	398	365	393	399	362	369	391	368	370	367	403	379	371
	46	49	46	46	48	51	52	47	38	44	47	54	47.3	47.6

○介護老人福祉施設（特養）短期入所生活介護合算稼働推移

■合算稼働率（％）

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
稼働率(%)	87.15	92.95	92.65	94.89	96.95	97.58	98.09

○施設実習受入実績

長浜北星高校介護福祉類型3年生	3名	6月6日～6月27日（16日間）
滋賀県立看護専門学校	8名	9月4日～9月10日（4日間）
	8名	9月11日～9月18日（4日間）
	10名	10月10日～10月11日（2日間）
外国人介護職員初任者研修	2名	1月27日

○委員会活動実績

委員会名	実施日・内容
サービス向上委員会	毎月第3水曜日 主任以上が出席し、前月の振り返りや今後の予定、各サービスの稼働実績、今後の単価について共有・検討を実施 JKA 補助金取得に向けて機種選定委員会を開催し、必要機能やランニングコストを踏まえ機種を決定・導入 また、次年度に向けてデイサービスのチェアー浴槽改修、及び財源としての丸紅基金の活用を検討
衛生委員会	毎月第3水曜日（サービス向上委員会内） 職員の健康障害防止や健康保持増進に向け、労働環境の改善や労働災害防止についての検討・対応を実施
事故防止委員会	毎月第3水曜日（サービス向上委員会内） ヒヤリハットや事故の事例を検討し、再発防止や未然防止に向けた取り組みを組織的に推進
虐待防止・接遇態度・不適切ケア改善・身体拘束等適正化委員会	毎月第3水曜日（サービス向上委員会内） 利用者の安全と人権の確保、適正な支援の実施に向けた検討を実施 職員同士で注意喚起できる改善シートや、共通課題を共有する啓発ポスターを毎月作成・周知 身体拘束については、PDCA サイクルに基づき検討・分析・承認・実施・再評価を行い、適正化を推進
生産性向上委員会（新設）	令和6年度新設 生産性向上加算（Ⅱ）を取得。介護機器の活用による利用者の安全確保とケアの質向上、職員の休憩確保や勤務条件への配慮を推進 眠りSCANの不具合点検を定期的に行い、業務の効率化と職員負担の軽減に向けた教育を実施
入所検討委員会	毎月第3水曜日（サービス向上委員会内） 前月の入退所状況を確認し、入所待機者についてはガイドラインに基づき入所順位を決定
給食・口腔ケア委員会	毎月第2火曜日 利用者の栄養状態の向上と、食事を楽しむ工夫について検討を実施 歯科医師・歯科衛生士の指導のもと、口腔ケア計画を策定し、安全で効果的な口腔ケアの実施に向けた協議や勉強会を実施。さらに口腔衛生管理加算（Ⅱ）取得に向けた実施計画を立て、LIFE への実施状況報告

感染対策・褥瘡予防対策・排泄委員会	毎月第1火曜日 感染対策マニュアルを作成し、遵守徹底のための研修会を実施。消毒機器の導入などによる環境整備と業務改善を実施。褥瘡予防対策や、個々の排泄パターンに応じた快適な生活支援の方法を検討し、勉強会を実施 また、研修内容をもとに定期オムツ交換回数の平均化を導入し、消耗品コスト・人件費・利用者満足度のバランスに配慮した取組を推進
ケア委員会	毎月第2月曜日 介護技術の向上と介護機器（タブレット、眠り SCAN、移乗リフト等）の活用を進め、利用者の安全・安楽な生活と統一的なケアの実施を推進。介護負担軽減を目的に、機器活用の主導や勉強会を通じた業務見直し・介助方法の改善を実施 ・「抱え上げない介護」実践者研修を受講し、事業所認定を取得。職員の腰痛予防と働きやすい職場づくりを推進。 ・「しが介護現場革新アドバイザー在籍事業所」として認定を受け、業務改善の助言・支援を実施。他施設との相互訪問により、眠り SCAN 活用や補助金申請に関する助言・相談体制を構築 ・外出・里帰り支援を計画的に実施し、令和6年度は35名（26回）を支援。コロナ禍前を上回る実績を達成
BCP 委員会	毎月第1月曜日 BCP の読み合わせを行い、各部署での対応体制を整備。貯水槽からの給水訓練や、備蓄冷凍食品の準備・提供訓練を実施。また、外部講師による研修を受け、内容を踏まえて計画の見直しを行った。消防訓練は非常災害訓練と連動して実施
コロナ対策委員会	臨時開催あり コロナ感染状況の把握やクラスター発生時の対応方法について検討を実施。併設する湖北病院の感染症担当と連携し、感染症対応を随時実施 感染症 BCP を現場の状況に応じて修正し、運営を止めず対応できる体制の整備を推進

（2）ケアハウス伊香

軽費老人ホーム事業

自炊ができない程度の身体機能の低下があり、独立して生活するには不安がある方で、家族等による援助を受けることが困難な入居者に食事や入浴等、日常生活上必要な支援を提供するとともに、感染予防に努めながら、毎月、買い物やレクリエーションの機会等を持ち、地域の中で可能な限り自立した生活を営めるように支援しました。

令和5年5月よりコロナが5類となりましたが、施設では常に対策を維持して運営しています。そんな中でも、外出や面会、ボランティアの受け入れ等、入居者の生活に楽しみや生きがいを持

てるような支援を実施しました。

入居者の平均年齢は86歳で、72歳から97歳の男性3名、女性9名の計12名（令和6年3月末）が入所されています。幅広い年齢層の中での集団生活には様々な課題がありますが、必要に応じた相談支援を行うことで、満足度の高い生活環境づくりを進めました。また、他部門と連携をはかり、介護サービスが適切に受けられるように支援体制の強化に努めています。

なお、2人部屋は3部屋ありますが、現在、1部屋のみ夫婦で入居され、残り2部屋は単身の方での入居となっており、そのため13名で満室となっております。

老人ホーム検索サイト「みんなの介護」に掲載中で、サイトからの問い合わせは、合計19件（年間）受けております。

■実績(月末在籍者数) 単位：名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	稼働率
入居者数（名）	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	13	12	80.5%

■要介護度別利用者数(年度末人数) 単位：名

	自立	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
入居者数（名）	2	0	4	3	2	0	0	1	0	12

4. 福祉ステーション・地域福祉センターの指定管理

(1) 福祉ステーション指定管理

① 指定管理施設一覧

施設名	所在地
長浜東部福祉ステーション	東上坂町 1000
長浜北部福祉ステーション	神照町 288-1
浅井デイサービスセンター	今莊町 859-1
湖北福祉ステーション	湖北町速水 1860
高月福祉ステーション	高月町西物部 73-1
木之本福祉ステーション	木之本町千田 53
西浅井福祉ステーション	西浅井町塩津浜 1795

② 高齢者福祉センター事業（東部・北部・高月・木之本）

○外出支援事業（東部・北部）

高齢者等の閉じこもり予防を目的として、地域住民の利用促進を図るため車両の運行で福祉ステーションをより身近な憩いの場所として活用するとともに、買い物支援等を実施することで要援護者等の生活向上を目指しました。また健康増進を図るため、こころやかからだの病気、生活習慣改善等についての健康相談を行いました。

	実施回数	参加者数
東部高齢者福祉センター	35回	498名
北部高齢者福祉センター	22回	613名

○生きがいづくり講座（東部・北部）

	内 容	実施回数	参加者数
東部高齢者福祉センター	生きがいづくり講座	4 回	59 名
	スマホ講座	4 回	39 名
北部高齢者福祉センター	生きがい作り講座	4 回	71 名
	健康講座	5 回	96 名
	スマホ講座	1 回	20 名
	体操教室	48 回	976 名

○生きがいづくり講座の開催とサークル活動支援（高月・木之本）

高齢者等の生きがいづくりを促進するため、各種趣味活動への導入講座を開催し、高齢者の活動的で豊かな余暇活動を支援しました。また、講座参加者が中心となるサークル活動を支援することで地域のつながりを深めました。

	内 容	実施回数	参加者数
高月高齢者福祉センター	ヨガ教室	17 回	495 名
	シルバー体操	20 回	232 名
	将棋クラブ	37 回	103 名
	男の料理教室	8 回	90 名
	フラワーアレンジメント教室	8 回	118 名
木之本高齢者福祉センター	折り紙 あじさい	10 回	95 名
	男の料理教室	5 回	62 名
	いきがい作り教室	3 回	27 名
	絵画教室	22 回	100 名
	老ク連 卓球クラブ	19 回	245 名

○福祉講演会の開催

地域住民を対象に福祉課題に対する研修や講演会を開催し、福祉意識の啓発と福祉の担い手の発掘・育成を図りました。また地区社協（福祉の会）や、まちづくりセンター事業と連携して開催することで、地域・施設間の連携の強化に努めました。

	内 容	参加者数
東部高齢者福祉センター	フレイル・サルコペニアを予防する秘訣	50 名
北部高齢者福祉センター	この町が好きだから～ 差別の歴史を持つ地域に生まれて	88 名

○高齢者福祉センター利用状況

地域の福祉事業の拠点として運営を行い各地域福祉事業の展開、地域住民・福祉団体活動に活用いただきました。

■東部高齢者福祉センター

	件数	利用者数
保健事業	1 件	56 名
研修・視察・学習・会議	8 件	113 名
交流会	3 件	63 名
施設貸出	73 件	630 名
外出・買物支援	35 件	498 名
施設管理ボランティア	4 件	94 名
健康広場・講座	172 件	1,558 名
合 計	296 件	3,012 名

■高月高齢者福祉センター

	件数	利用者数
自主事業	90 件	1,038 名
団体利用	700 件	3,747 名
合 計	790 件	4,785 名

■湖北福祉ステーション

	件数	利用者数
自主事業	752 件	7,539 名
団体利用	150 件	2,295 名
合 計	902 件	9,834 名

■北部高齢者福祉センター

	件数	利用者数
保健事業	1 件	40 名
研修・視察・学習会	4 件	72 名
交流会	58 件	647 名
会議	290 件	1,288 名
施設貸出	6 件	205 名
外出支援	22 件	613 名
健康広場・講座	302 件	5,213 名
合 計	683 件	8,078 名

■木之本高齢者福祉センター

	件数	利用者数
自主事業	55 件	163 名
団体利用	265 件	2,558 名
合 計	320 件	2,721 名

③地域包括支援センター（北部・高月）※5. 公益事業参照

④その他介護事業

○通所介護事業（東部・北部・浅井・湖北・高月・木之本・西浅井）

○居宅介護支援事業（北部・湖北・西浅井）

（2）長浜市地域福祉センター指定管理

長浜市地域福祉計画及び長浜市地域福祉活動計画の『多様性を尊重し 地域の絆で ともに育み支えあい安心して暮らせるまち 長浜』を基本理念とした本市の地域福祉活動支援拠点の中核施設として運営を行いました。

○所在地：長浜市高田町 12-34 さざなみタウンながはま文化福祉プラザ3階

○長浜市地域福祉センター利用状況

内 訳	件 数	利用者数
貸館	436 件	4,133 名
窓口来所	4,020 件	4,454 名
合 計	4,456 件	8,587 名

5. 公益事業

(1) 地域包括支援センターの運営

長浜北部福祉ステーション（神照）、生きがいセンター（虎姫）、高月福祉ステーション（高月）の3カ所において、市の委託により地域包括支援センターを運営しました。

地域包括支援センターでは、総合相談支援や介護予防ケアマネジメント業務等を提供し、身近で専門的な高齢者相談窓口としての役割を担っています。また、生活支援コーディネーター等と連携し、地域における住民主体の福祉活動の把握や、住民及び専門職ネットワークの構築にも取り組みました。これにより、地域包括ケアシステムの構築を推進しています。

さらに今年度も各圏域において、民生委員・児童委員とケアマネジャーとの交流会を継続して実施し、相互の連携体制を強化する取り組みを進めました。

○設置運営場所

- 神照郷里地域包括支援センター 長浜市神照町 288-1 長浜北部福祉ステーション内
- 浅井びわ湖虎姫地域包括支援センター 長浜市宮部町 3445 生きがいセンター内
- 湖北高月地域包括支援センター 長浜市高月町西物部 73-1 高月福祉ステーション内

○事業実績

■総合相談支援事業

相談形態	神照郷里	浅井びわ湖虎姫	湖北高月	合 計
電話	3,303 件	2,354 件	2,011 件	7,668 件
来所	535 件	416 件	371 件	1,322 件
訪問	1,046 件	663 件	569 件	2,278 件
会議	207 件	168 件	150 件	525 件
その他	126 件	56 件	50 件	232 件
合 計	5,217 件	3,657 件	3,151 件	12,025 件

■虐待対応

	神照郷里	浅井びわ湖虎姫	湖北高月	合 計
対応件数	28 件	20 件	26 件	74 件

■介護予防支援、介護予防ケアマネジメント

	介護予防支援			介護予防ケアマネジメント			合計		
	直営	委託	計	直営	委託	計	直営	委託	計
神照郷里	882 件	1,397 件	2,279 件	500 件	808 件	1,308 件	1,382 件	2,205 件	3,587 件
浅井びわ湖虎姫	704 件	910 件	1,614 件	380 件	283 件	663 件	1,084 件	1,193 件	2,277 件
湖北高月	465 件	870 件	1,335 件	143 件	351 件	494 件	608 件	1,221 件	1,829 件
合計	2,051 件	3,177 件	5,228 件	1,023 件	1,442 件	2,465 件	3,074 件	4,619 件	7,693 件

■包括的・継続的ケアマネジメント業務

会議名	神照郷里	浅井びわ湖虎姫	湖北高月	合 計
地域ケア会議	83 回	99 回	96 回	278 回
虐待対応会議	97 回	45 回	78 回	220 回

認知症施策推進	29回	43回	33回	105回
多機関連携会議	158回	140回	90回	388回
合 計	367回	327回	297回	991回

■研修・地域ネットワーク活動

内容	神照郷里	浅井びわ虎姫	湖北高月	合 計
研修参加	158回	140回	90回	388回
地域ネットワーク活動	94回	64回	79回	237回

(2) 介護職員初任者研修の開催

在宅サービス事業を幅広く実施し多数の有資格者を有する本会では、そのノウハウを活かし、介護の現場で必要となる基礎的な知識と技術を身につけることができる「介護職員初任者研修」を実施し、人材の育成・確保に努め、修了者のうち1名を介護事業所への就労につなげられました。

○開催期間 令和6年5月24日～令和6年9月6日の全23日間（施設実習1日含む）

○開催場所 湖北福祉ステーション

○受講者 8名

(3) 外国人介護職員初任者養成研修の開催（県受託事業）

高齢化の進展と人口減少社会の中で多様なルートからの人材確保が必要になっていることから、良質な介護サービスが安定して提供されること、ならびに外国人の方々の雇用の促進を目的として、県内在住の外国人を対象とした「介護職員初任者研修」を実施しました。

また、開催にあたっては、本会のみならず湖北地域介護サービス事業者協議会等と連携をとり、新たな人材確保に努めました。

○開催期間 令和6年9月28日～令和7年3月10日の全23日間（施設実習1日含む）

○開催場所 湖北福祉ステーション

○受講者 10名

6. 法人運営等

(1) 理事会の開催

○令和6年6月11日（火）

- 令和5年度 業績連動型賞与の支給について
- 令和5年度 社会福祉法人長浜市社会福祉協議会 事業報告について
- 令和5年度 社会福祉法人長浜市社会福祉協議会 一般会計収支決算について
- 令和5年度 長浜市共同募金委員会会計収支決算について
- 令和6年度 社会福祉法人長浜市社会福祉協議会 一般会計第1号補正予算（案）について
- 社会福祉法人長浜市社会福祉協議会経理規程の一部改正について
- 評議員選任候補者の推薦について
- 第1回評議員選任・解任委員会の招集について
- 定時評議員会の招集及び招集に必要な事項について

○令和7年3月14日（金）

- 令和7年度 社会福祉法人長浜市社会福祉協議会事業計画（案）について
- 令和7年度 社会福祉法人長浜市社会福祉協議会一般会計予算（案）について
- 令和7年度 長浜市共同募金委員会会計予算（案）について
- 役員等賠償責任保険契約を締結することについて
- 社会福祉法人長浜市社会福祉協議会経理規程の一部改正について
- 第1回評議員会の招集及び招集に必要な事項について

(2) 評議員会の開催

○令和6年6月26日（水）【定時評議員会】

- 令和5年度 社会福祉法人長浜市社会福祉協議会 事業報告について
- 令和5年度 社会福祉法人長浜市社会福祉協議会 一般会計収支決算について
- 令和5年度 長浜市共同募金委員会会計収支決算について
- 令和6年度 社会福祉法人長浜市社会福祉協議会 一般会計第1号補正予算（案）について

○令和7年3月24日（月）

- 令和7年度 社会福祉法人長浜市社会福祉協議会事業計画（案）について
- 令和7年度 社会福祉法人長浜市社会福祉協議会一般会計予算（案）について
- 令和7年度 長浜市共同募金委員会会計予算（案）について

(3) 監事会の開催

○令和6年5月30日（木）

- 令和5年度 社会福祉法人長浜市社会福祉協議会 事業報告について
- 令和5年度 社会福祉法人長浜市社会福祉協議会 一般会計収支決算について
- 令和5年度 長浜市共同募金委員会会計収支決算について

○令和6年12月18日（水）

- 令和6年度（前期分）社会福祉法人長浜市社会福祉協議会 一般会計収支概況について

(4) 評議員選任・解任委員会の開催

○令和6年6月18日（火）

■評議員の選任について

7. その他事業

①生活困窮者就労訓練事業

自立相談支援機関（生活困窮者自立支援法に基づき自治体やその委託事業者が運営）のあっせんに応じて、就労に困難を抱える生活困窮者を受入れ、その状況に応じた就労の機会を提供するとともに、生活面や健康面での支援を実施しました。

○受け入れ 1名（73日間）

○訓練内容 事務補助・施設維持管理業務等

②善意銀行

○金銭口座 89件 3,713,648円

○物品口座 47件

食料品	20件	米 1.180 kg等
介護用品等	8件	紙おむつ、入浴チェア等
日常生活用品	15件	衣類、タオル、石鹸等
その他	4件	車イス、歩行器等

③日本赤十字社滋賀県支部長浜市地区事務局の運営

日本赤十字社の活動資金（会費・寄付金等）募集、災害時における救援援助活動、赤十字奉仕団活動の支援等を実施しました。本市でお寄せいただいた会費・寄付金等については、日本赤十字社滋賀県支部をとおして国内外の被災地支援や世界中の災害及び紛争、病気などに苦しむ人々を救うための活動資金として活用されます。

区 分	金 額（円）
会費・寄附金	6,478,825
法人活動資金	668,000
合 計	7,146,825



日本赤十字社公式HP

④長浜市共同募金委員会事務局の運営

赤い羽根共同募金（一般募金）及び歳末たすけあい募金を推進するために、事務局を設置し円滑な募金活動に取り組みました。お寄せいただいた募金は、滋賀県共同募金会をとおして長浜市内及び滋賀県内の地域福祉の推進、全国の被災地復興支援活動に活用されます。

○赤い羽根共同募金（一般募金）運動の推進

区 分	募 金 額 (円)
戸別募金	5, 126, 937
法人募金	640, 500
学校募金	175, 597
職域募金	239, 801
その他の募金	103, 522
合 計	6, 286, 357



滋賀県共同募金会公式HP

○歳末たすけあい運動の推進

区 分	募 金 額 (円)
歳末たすけあい募金	4, 032, 377

⑤社会福祉協議会会費実績

○一般会費： 417自治会他 11, 877, 124円
 ○特別会費： 162件 677, 000円

注記 事業報告の附属明細書については事業報告と一体的に作成しています。